

令和6年度予算が成立しました。1,846億 一般会計の総額は過去最高の1,846億円

区民生活の下支え、都心区としてのまちづくり、地震対策などを柱に…。

2月14日から3月13日まで令和6年第一回港区議会定例会が開催され、令和6年度予算が成立しました。

区の歳入の根幹をなす特別区民税収入は、当初予算としては過去最高となる884億円が見込まれ、さらに財政調整基金の89億円をはじめとする174億円の基金を活用することで、一般会計の総額は過去最高規模となる1,846億円を計上、3つの特別会計(国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計)を合わせた全体の予算総額は2,368億円となりました。

今年度予算には、コロナとの闘いや物価高騰の影響から脱却し、区民生活を支える取組みや、都心区である港区の地域特性に応じた対策と併せて、元日に発生した能登半島地震を教訓とする地震災害への対策を強化するなど、安全・安心をより確かなものとするための施策が盛り込まれることとなりました。

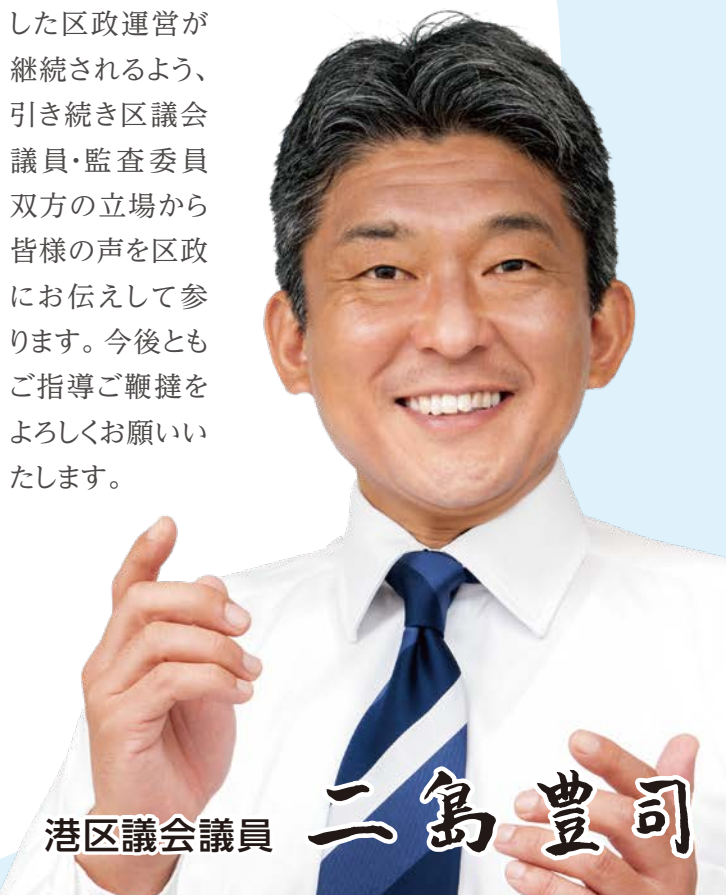
二島とよじの提案も実現 事業化され、今年度から実施へ

今回の予算は、私が昨年の選挙でも強く訴えてきた内容も反映されており、例えば区内共通商品券へのアプリ導入は、この先、港区独自の地域通貨へと発展させるための第一歩とも言えます。他にも地震発生時にマンション居住者が在宅避難を行うための支援策の強化や行政DX化の取組みに関しては、区へのすべての申請手続き

をオンラインで可能とするなど、安全で安心かつ利便性の更なるの向上につながることが期待されます。

監査委員となり約1年が経過しました。職場実査や工事監査などをひと通り経験し、事務の厳正なチェックを行うことはもちろんのこと、不適正な事務を発生させない環境をあらかじめ整えるという視点を持つことが大切であると考えています。

堅調な区民税収入とこれまで積み立てられた基金を無駄なく有効に活用し、区民生活の隅々まで行き届いた安定した区政運営が継続されるよう、引き続き区議会議員・監査委員双方の立場から皆様の声を区政にお伝えして参ります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



港区議会議員

二島豊司



二島とよじ 予算委員会で質問・提案

二島とよじは2月28日から3月11日にかけて開催された
予算特別委員会で質問に立ち、提案・提言を行いました。
その概要は以下の通りです。



■活用可能床、権利床の賃料収入実績と見込みについて

札の辻スクエアの2、3階部分（活用可能床）の賃料は、令和5年度5,350万4,077円。令和6年度は5,981万8,884円を見込む。
東京三田ガーデンタワー（権利床）の

賃料は、令和5年度に1,822万8,540円。令和6年度には8,583万3,000円を見込む。

■能登半島地震の被災状況を踏まえたライフラインの耐震化について
港区内の耐震化率はガス管93%、水道管45%。各ライフライン企業者に対し、ライフラインの維持に関する調査や、応急対策等を要請。

■介護予防の観点を踏まえた、高齢者福祉理美容サービスの対象拡大
高齢者の利用実態を把握し、関係団体の意見を聞きながら、他自治体の実施状況や効果等を調査。

■お口の健診の受診者数向上と質の向上

個別勧奨を活用し受診率向上を図る。毎年歯科医療機関向けに研修を行うとともに、区と歯科医師会、有識者によるお口の健診検討会を年3回実施。芝、麻布・赤坂両歯科医師会と密接に連携し区民に質の高い健診を提供。

■御田小学校建替え期間中の通学路の安全確保

通学路の安全や児童の登校状況などを把握し、警察など関係機関と連携、必要な安全対策を実施。更に下校時の児童誘導などを行うスクールサポートスタッフを新たに配置。



シンガポール修学旅行について 続報

シンガポール修学旅行の受託事業者を決めるため、選定委員会がプロポーザルを実施。選考の結果、応募のあった7社の中から、東武トップツアーズ株式会社が受託事業者として選定されたことが、海外修学旅行調査特別委員会に報告されました。同社はシンガポールを行き先とした修学旅行の実績が数多くあり、経験を踏まえた危機管理への対応やプログラムの内容などが評価されました。また5億1200万円と見込まれていた経費は、約3億8160万円となり当初想定のおよそ4分の3に収まることになりました。



武井雅昭区長も御田小学校 三光キャンパスへの通学状況を視察

御田小学校の建替えに伴い、今年度からおよそ5年間、三光キャンパスが使用されます。新校舎の運用や都バスの混雑など通学の様子、また通学路上の注意箇所などについて武井区長が直接現地を視察。必要な安全確保策を適宜構想することを確認しました。

二島豊司 (にしま・とよじ) プロフィール

- 昭和47年(1972年)、栃木県足尾町(現・日光市)生まれ
- 栃木県立宇都宮高校卒～早稲田大学法学部卒
- 株式会社日本リース勤務～衆議院議員・梶山弘志秘書
- 平成19年4月、港区議会議員に初当選(現在5期)
- 令和元年5月、第46代港区議会議長就任(～令和3年6月)

- ボーイスカウト港17団(港区白金)リーダー、ガールスカウト東京94団(港区白金)をサポートするリーダー、障がい者スイミングクラブボランティア等も行う
- 家族は妻と2男(15歳、8歳)
- ◆自民党議員団幹事長、港区議会総務常任委員長、建設常任委員長、自民党東京都連青年部幹事長等を歴任
- ◆元・明治学院大学非常勤講師(都政研究)
- ◆NPO法人 先端政策研究機構主任研究員

二島
とよじ
連絡先

〒108-0072 港区白金1-8-9-202

TEL.03-3445-1056 FAX.03-6868-7243

最新
情報
発信中!

公式HP



Σ



YouTube

